

科目名	建築デザイン研修 1							年度	2025
英語科目名	International Field Trip 1							学期	通年
学科・学年	建築設計科 1 年次	必／選	選	時間数	30	単位数	1	種別※	実習
担当教員	丸山 尚子	教員の実務経験		有	実務経験の職種		建築設計		
【科目の目的】 ・海外・国内の注目すべき建築物や街づくりに関してリサーチする ・見学予定の建築物がある場所の歴史文化、風土をとらえ、グループで見学行程の計画を立てる ・実際に現地を訪れ、建築空間を実体験することで大きな成果を得ることができる									
【科目の概要】 海外・国内における建築デザインの動向について事前調査を行う 建築見学の場所の特性を調べ、見学行程の計画を立てる 実際に建築見学に行き、見学体験を行い、レポートをまとめる									
【到達目標】 A. 注目すべき建築物についてリサーチができる B. 見学予定の建築物の場所の風土やコンテキストを理解し、建築物のコンセプトを抽出できる C. 建築見学の行程計画を立て、現地で成果のある見学体験をし、レポートとしてまとめることができる									
【授業の注意点】 評価はルーブリックにもとづいて行い、指導教員等により中間発表会やレポート成果物により評価を行う。 学生による自己評価及び相互評価も実施する。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている	レベル4 よい	レベル3 ふつう	レベル2 あと少し	レベル1 要努力				
到達目標 A	対象地域の有名な建築物に加え、隠れた名建築を選択しリサーチできる	対象地域の有名な建築物を選択し、概要を詳細にリサーチできる	対象地域の有名な建築物を選択し、概要をリサーチできる	対象地域の有名な建築物を選択しているが、リサーチができていない	対象地域の有名な建築物を選択も、リサーチもできていない				
到達目標 B	現地の場所や風土を理解し、建築物の考え方を深く分析・抽出できる	現地の場所や風土を理解し、建築物の概要を詳細に抽出できる	現地の場所や風土を理解し、建築物の概要を抽出できる	現地の場所や風土の理解せずに、建築物の概要を抽出している	現地の場所や風土の理解をせず、建築物の概要も抽出していない				
到達目標 C	グループで積極的かつ緻密に行程計画・見学・レポート作成をできる	グループで積極的に行程計画・見学・レポート作成をできる	グループの行程計画に参加し、見学・レポート作成をできる	見学はしたが、行程計画への協力・レポート作成をできていない	グループの行程計画に非協力的で、見学・レポート作成をできていない				
【教科書】 なし									
【参考資料】 資料プリント									
【成績の評価方法・評価基準】 事前調査への参加と取り組み、現地での見学姿勢およびレポートの成果物を総合的に判断し評価する									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

